

福岡いのちの電話「開局 35 周年記念」チャリティイベント 津軽三味線プレイヤー 史佳 講演 & 演奏会



「三味線と生きる」
人生の絶望から救ってくれた母の一言



竹山竹育氏

と き 2019 年 11 月 30 日 (土)

開演 15 時 (開場 14 時 30 分)

ところ 都久志会館ホール

(福岡市天神 4-8-10)

参加費 2,000 円 (全席自由)

年中無休で、悩み苦しむ方と向き合い多様なお話しに寄り添う「いのちの電話」。「福岡いのちの電話」は 1984 年 10 月に開局して 35 年の節目を迎えました。開局以来の受信数は、約 71 万件になります。

開局からの振り返りとこれからの役割を、市民の皆さまと共に考える機会にしたいと記念イベントを企画しました。世界的な津軽三味線プレイヤー「史佳」氏による講演と演奏です。共演は竹山流三味線を率いてきた竹山竹育氏 (史佳氏の師であり母) です。

津軽三味線の醍醐味を楽しみ、生きる力となれば幸いです。

メールアドレス
読み取りコード



主催 社会福祉法人福岡いのちの電話 / 後援会
後援 福岡県、福岡市、西日本新聞社、
テレビ西日本

お申込みは、福岡いのちの電話事務局へ
・住所・氏名・連絡先・参加人数を明記の上
FAX 092-721-4343 又は下記メールまで
E-mail : find4343@sirius.ocn.ne.jp

福岡いのちの電話「開局 35 周年記念」チャリティイベント

津軽三味線プレイヤー 史佳 講演 & 演奏会



「三味線と生きる」
人生の絶望から救ってくれた母の一言

史佳
Fumiyoshi



高橋竹育 (たかはし・ちいく) プロフィール

竹山節本流津軽三味線の師匠、新潟高橋竹山会初代会主・高橋竹栄に師事し、後進の指導力を見込まれ「竹育」という名を授かる。1994年に新潟高橋竹山会の二代目会主を継承(2019年より高橋竹秀こと史佳 Fumiyoshi が三代目を継承)。三味線プレイヤー史佳 Fumiyoshi の師匠そして母である。竹山流三味線一筋に 2020 年には演奏活動 45 周年を迎え、現在 100 名近くの後進の指導にあたりながらも舞台上上がり、史佳 Fumiyoshi との親子共演も精力的に行う。女性らしいしなやかで哀愁のある音色に定評がある。

三味線プレイヤー 史佳 Fumiyoshi プロフィール

ニューヨークに拠点を置き、新潟出身の三味線プレイヤーとして国内外で演奏活動・講演活動を行っている。音の響きを大切にする“弾(ひ)き三味線”奏法を得意とし、津軽三味線のスタンダード曲はもちろんのこと、近年は新しい三味線の楽曲作りにも取組んでおり、古典を大切なベースとしながらも、伝統芸能の枠を超えた新しいニッポンの音楽を目指して活動している。演奏活動の他、ライフワークとして自らがサラリーマン時代に患った「うつ病」から回復したエピソードを語る講演会も、教育機関、福祉施設などで積極的に行っている。

◆ 市民による市民のための「いのちの電話」 ◆

福岡いのちの電話は自殺予防と危機援助を目的に、電話での寄り添い活動を行っており、現在、180名ほどのボランティア員が 24 時間年中無休体制で活動しております。多様な悩みで心を痛み苦しむ方々への理解を深め、真摯に対応できるよう研鑽に努めております。

電話ボランティアだけでなく、活動を維持していくために、一般市民、団体からの支援をいただいています。活動へのご理解をお願いいたします。

福岡いのちの電話事務局

* FAX 092-721-4343 * 電話 092-713-4343

<http://www.f-inochi/crg/>

会場
都久志会館
周辺地図

